



おはなしの

マッチばこ



私達は、おはなしのろうそくに
火をともし マッチです。

この箱が、さまざまなお話を
マッチで いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

5月のストーリーテリング勉強会

2012年5月9日(水) 午前9:30~12:00

主催:高知県立図書館 参加者:8人

次回の勉強会は

6月13日(水)

9:30~12:00 です

場所:当館3階小会議室

今月のおはなし

1. 鬼とちっちなブケッティーン 6分

『ネコのしっぽ』(木村則子/訳 ほるぷ出版)より

【語り手から】おはなしを聞きなれている子どもたちなら、3~4歳ぐらいから聞いてもらっています。

2. みにくいアヒルの子(途中から)

『子どもに語るアンデルセンのお話・2』(松岡享子/編 こぐま社)より

【語り手から】最後までいきませんでした。皆さんのお話を聞かせていただいて力を得たので、6月には冬春を語れるようにします。

3. パンドラ 11分

『ギリシア神話』(石井桃子/編・訳 のら書店)より

【語り手から】様々な物語のモチーフの源になり、また絵画や彫刻の題材としてもたくさんとりあげられている「ギリシア神話」。子どもたちにも知ってほしいなあと思って覚えました。

4. 潮江山に狸がいなくなった話 5分

『日本の民話 土佐篇』(市原麟一郎/編 未来社)

【語り手から】場所によって、あがったりあがらなかったりで困ります。語り手の前でやるのはちょっとあがります。

5. ねむりひめ 11~12分

『ねむりひめ』(フェリクス・ホフマン/え せたていじ/やく 福音館書店)より

【語り手から】もう少ししっかりと覚えて、お話をつかんで語りたいです。

6. 愛のことば(詩) 1分

(八木重吉/詩)より

7. 岩じいさん 10~11分

『子どもに聞かせる世界の民話』(矢崎源九郎/編 実業之日本社)より

【語り手から】大陸的なパワーのあるおもしろさに魅力を感じて、語りたいと思いました。

8. ムギの穂 5分

『グリム童話集3』(相良守峯/訳 岩波書店)

【語り手から】ムギの穂がみのる頃になりましたので、この話をきいていただきました。